

IFERI共同セミナー

《比較文学・思想史・日本文学 —福田恆存研究の視角を巡って》

昭和期日本を生きた福田恆存を、シェイクスピア受容、文芸批評、戦後思想といった視点から、捉え直し、福田を通して見えてくる昭和期日本の政治・社会・文化を巡る諸問題について、各学問領域を超えた新たなアプローチを議論する研究会を、以下の通り開催します。

記

日時：2009年11月1日（日）

場所：筑波大学 共同利用棟 A301-2

プログラム：

14：00～14：15 **【趣旨説明】** 福田恆存研究の「現在」

14：20～15：00 福田恆存の「原点」—福田の初期作家論における「自己」「表現」

古田高史（筑波大学大学院・人文社会科学研究所・国際日本研究専攻・院生）

15：10～15：50 福田恆存の「転機」—〈批評＝精神〉から〈芸術＝行為〉へ

浜崎洋介（東京工業大学大学院・社会理工学研究科・価値システム専攻・院生）

16：00～16：40 The Politics of Translation and the Translation of Politics

： Tsubouchi, Fukuda and *Julius Caesar*

Robert Tierney（イリノイ大学・東アジア言語文化研究科・准教授）

16：45～17：40 **【総合討論】** 昭和期日本と福田恆存

17：40～17：45 閉会に際して

※分野を問わず、興味関心のある方の参加を歓迎いたします。

問合せ先：IFERI プログラム第2期生 国際日本研究専攻 古田高史 (s0830057@u.tsukuba.ac.jp)